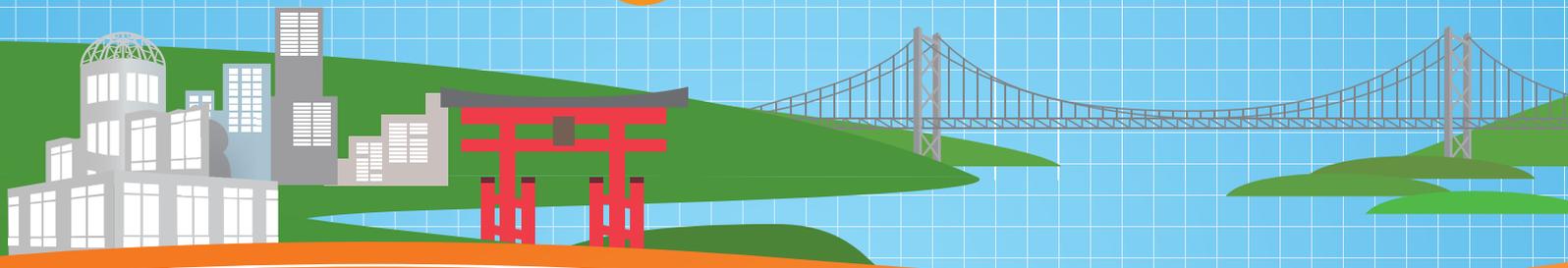


モーニングセミナー3

主流出路： 薬剤と手術からのアプローチ

日時 2017年9月30日(土) 8:00~8:50

会場 リーガロイヤルホテル広島 3F 宮島(第5会場)



座長

谷原 秀信 先生

熊本大学大学院
生命科学研究部 眼科学分野 教授



医学の進歩を振り返ると、特定の組織や細胞をターゲットとした薬剤や手術が開発され普及することで、治療効果の改善とともに、対象疾患の病態解明に大きく貢献してきたという歴史がある。近年、緑内障の分野においては、ROCK阻害薬や低侵襲緑内障手術(MIGS)の臨床応用などによって、主流出路から房水を流す治療的アプローチが盛んに行われるようになり、房水流制御メカニズムの理解が深まることが期待されている。そこで、本セミナーでは、薬剤と手術の観点から、主流出路を介する眼圧下降効果の特徴について紹介していただく。そして、これらの臨床経験から得られたメッセージを基盤として、主流出路でおこっている病態や、より適切な治療介入について、みなさんと一緒に考えたいと思う。

講演
1

ROCK阻害薬：
ぶどう膜炎を伴う緑内障への
使用経験から学んだこと

楠原 仙太郎 先生
神戸大学医学部附属病院 眼科 講師



講演
2

トラベクトーム手術：
術後成績からのメッセージ

庄司 信行 先生
北里大学医学部 眼科学 主任教授

